



“地域のことは地域で考えよう”

2016年3月29日

## おきぎん県内景況・速報 2016年2月

### 一県内景況は、拡大している一

#### ■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

#### ■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。

生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

#### ■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回る。

#### ■企業倒産

件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

### 現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2016年2月分)

◎2016年2月 おきぎん「カトリア」景況図



◎概況：県内景況は、拡大している。

2月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は雑貨や食料品などが堅調で、前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は、冷蔵庫や洗濯機の売上増加などにより前年同月を上回りました。新車販売台数は普通乗用車需要の増加などから前年同月を上回りました。

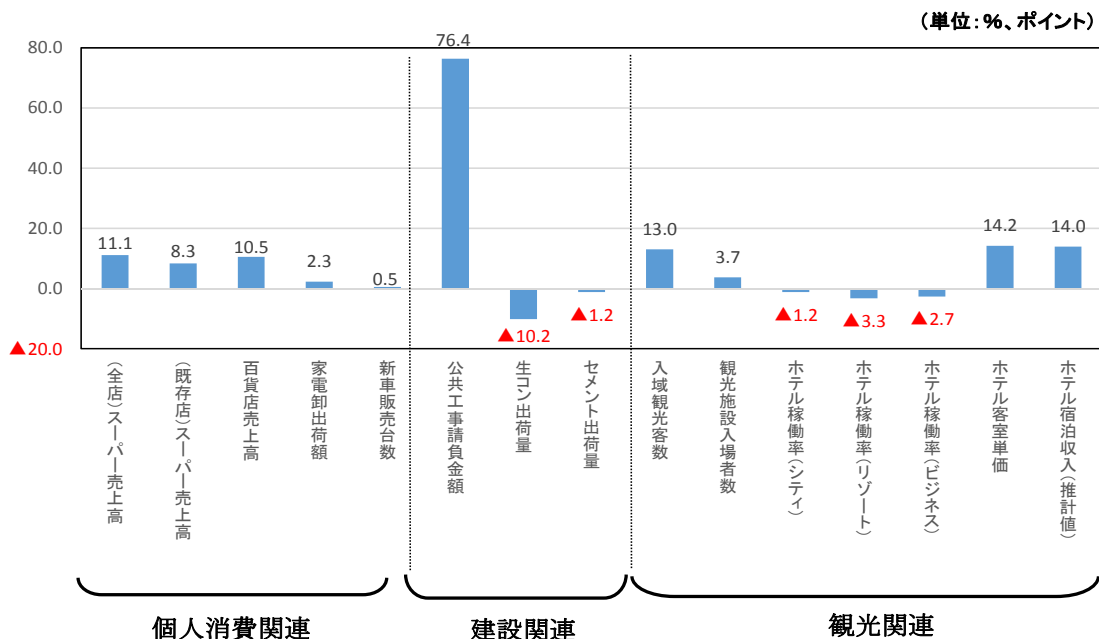
建設関連では、公共工事請負金額は、国や沖縄県発注による工事増加などで前年同月を上回りました。建設資材である生コンやセメントはともに前年同月を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は41ヵ月連続で前年同月を上回り、観光施設入場者数も前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回りました。ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入(推計値)も上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費や建設関連が概ね堅調であり、観光関連でも好調な動きが継続していることなどから「県内景況は拡大している」と景気判断を据え置きました。

(2014年2月の上方修正後から25ヵ月連続で判断維持)

主要景気指標前年同月比



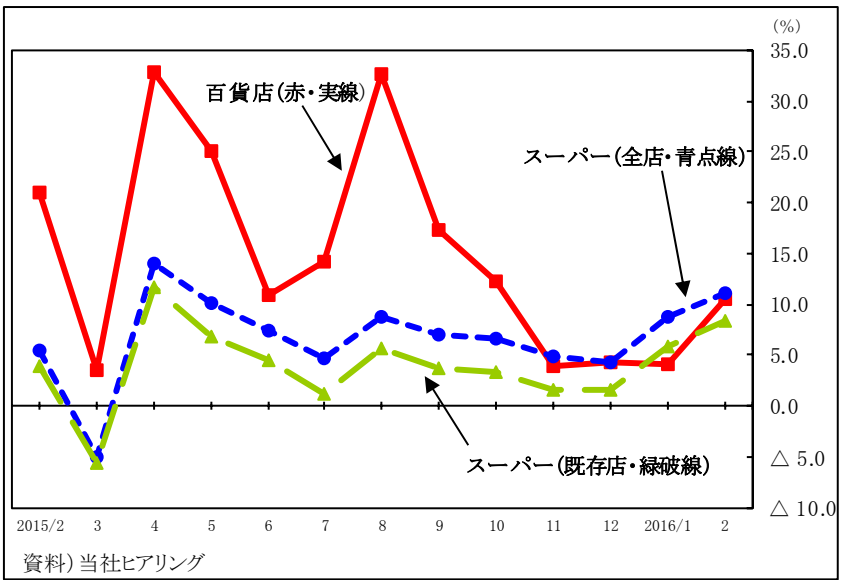


■ 個人消費: (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高は前年同月を上回る。

単位:%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全 店	既存店	
2015/2	5.4	3.8	21.0
3	△ 5.1	△ 5.6	3.5
4	13.9	11.7	32.8
5	10.1	6.9	25.0
6	7.4	4.5	10.8
7	4.6	1.1	14.2
8	8.7	5.6	32.7
9	7.0	3.7	17.3
10	6.6	3.3	12.3
11	4.9	1.5	3.8
12	4.2	1.5	4.2
2016/1	8.8	5.9	4.0
2	11.1	8.3	10.5

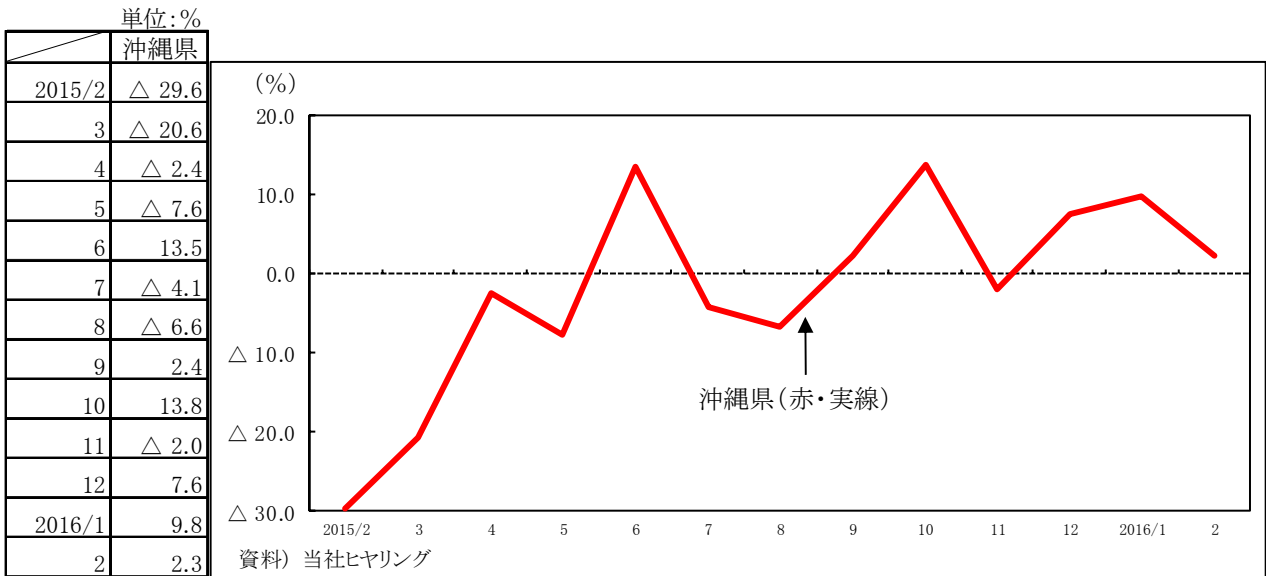


注2) スーパー売上高(既存店)については、2015年3月、4月データの誤差調整の後、修正を行なっております。本数値を参照の際には、最新のリリース情報をご覧ください。

2月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は「**全店ベース(前年同月比 11.1%増)**」が11ヵ月連続で前年同月を上回りました。閏年により営業日が1日多いことや新規出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 11.5%増)」や家電を含む「家庭用品(同 12.2%増)」の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。「**既存店ベース(同 8.3%増)**」は店舗改装による集客効果などから、11ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、ウェイトの高い「食料品(同 9.3%増)」は、旧正月需要などにより生鮮全般(精肉・水産・青果)の売れ行きが堅調だったことから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 7.5%増)」は季節要因(新年度、買い替え)需要の増加などから白物家電(洗濯機、冷蔵庫)やテレビの売れ行きが堅調だったほか、訪日観光客による雑貨需要(化粧品、小物類)の増加などから、前年同月を上回りました。一方で、「衣料品(同 2.3%減)」は、天候不順の影響などから、冬物衣料の売れ行きが低調だったことから、前年同月を下回りました。

**百貨店売上高(同 10.5%増)**は、閏年により営業日が1日多いことや店舗改装による集客効果などから「雑貨」や「食料品」などの売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 7.0%増)」は、一部の紳士服フロアが改装期間であったものの、主力商品である「婦人服(同 4.0%増)」の売れ行きが堅調で、前年同月を上回りました。「食料品(同 13.9%増)」は、新規テナント出店や催事開催などによる集客効果や、生鮮全般の売れ行きが堅調だったことなどから、前年同月を上回りました。また、「雑貨(同 40.0%増)」は継続的な訪日観光客需要などにより売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

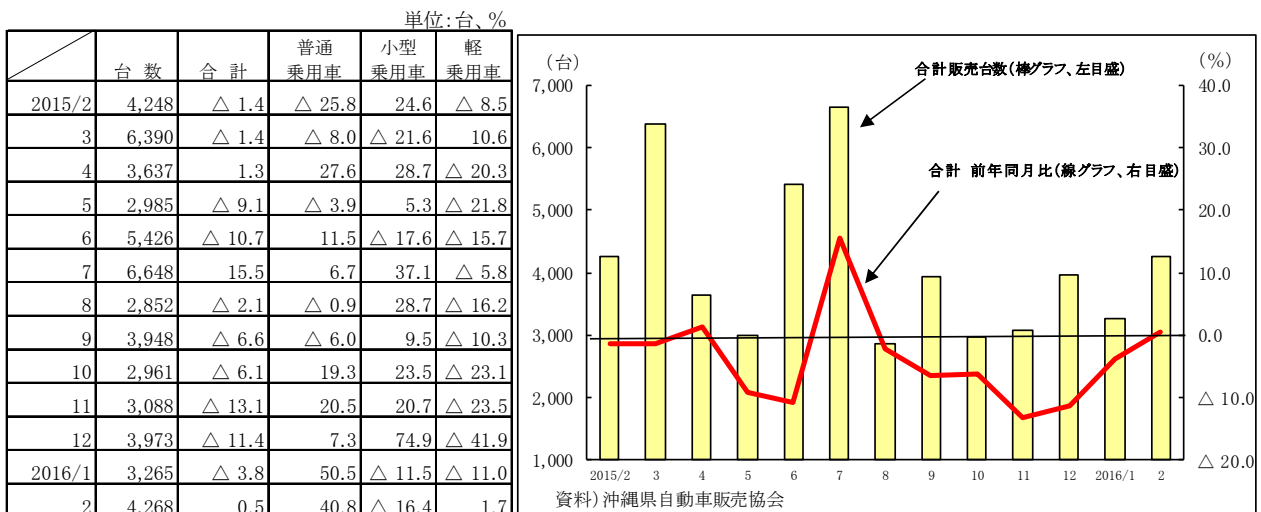
②家電卸出荷額…冷蔵庫や洗濯機の売上増加などにより、前年同月を上回る。



注)前年同月比

**家電卸出荷額**は、冷蔵庫や洗濯機の売上増加などにより、3 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 2.3%増)。品目別では「冷蔵庫(同 68.4%増)」、「洗濯機(同 44.3%増)」、「エアコン(同 3.0%増)」などでは、前年に落ち込んだ反動や新型商品効果などから売れ行きが堅調で前年同月を上回りました。一方で、「テレビ(同 2.2%減)」は新型商品の売れ行きが伸び悩み、前年同月を下回りました。

③新車販売台数…普通乗用車需要の増加などから、前年同月を上回る。



注)前年同月比

注)普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で 4,268 台(同 0.5%増)となり、普通乗用車需要の増加などから 7 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。車種別では、前年に落ち込んだ反動などから「普通乗用車(同 40.8%増)」は 5 ヶ月連続、「軽乗用車(同 1.7%増)」は 11 ヶ月ぶりに前年同月を上回りました。一方で、「小型乗用車(同 16.4%減)」はレンタカー需要の反動減などから 2 ヶ月連続で前年同月を下回りました。

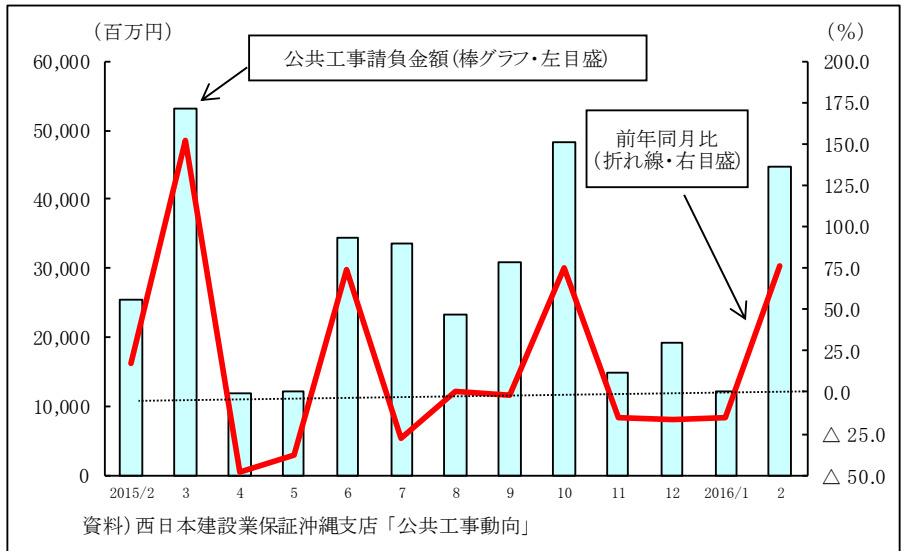
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連: (やや良い)

①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。

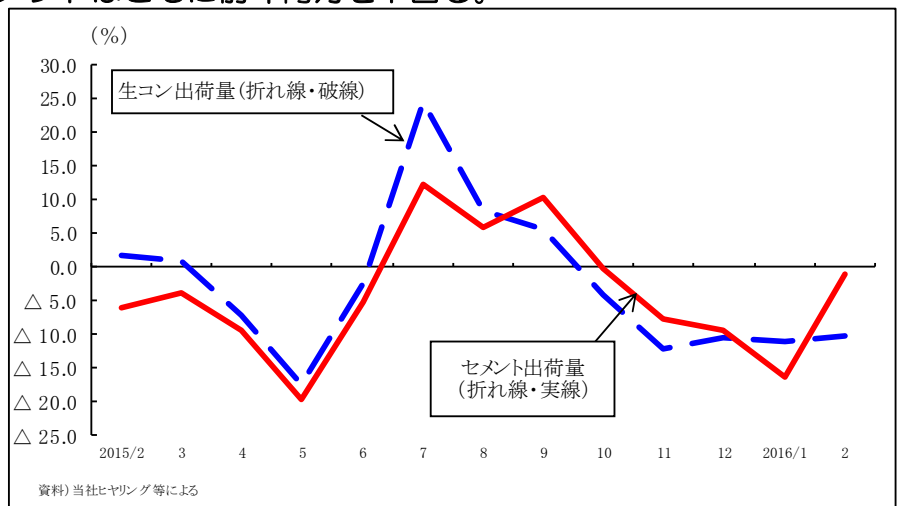
単位:百万円、%		
	請負金額	前年同月比
2015/2	25,384	17.1
3	53,096	151.7
4	11,991	△47.8
5	12,215	△37.9
6	34,358	74.0
7	33,472	△28.3
8	23,352	0.8
9	30,835	△2.1
10	48,301	74.7
11	14,816	△15.4
12	19,114	△16.8
2016/1	12,202	△15.0
2	44,788	76.4



2月の公共工事請負金額は、前年同月比76.4%増の447億8,800万円となりました(4ヵ月ぶり増)。発注者別でみると、「国(同68.6%増)」は、那覇空港滑走路増設関連工事など、「沖縄県(同211.6%増)」は八重山病院関連工事、「市町村(同20.1%増)」はダム関連工事、「その他の公共的な団体(同3.7%増)」は(仮称)那覇港総物流センター関連工事などの大型工事があり前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を下回る。

単位:前年同月比(%)		
	生コン	セメント
2015/2	1.7	△6.0
3	0.9	△3.9
4	△7.2	△9.3
5	△17.6	△19.6
6	△2.3	△5.3
7	24.3	12.4
8	8.4	5.9
9	5.5	10.4
10	△4.2	△0.2
11	△12.2	△7.7
12	△10.5	△9.4
2016/1	△11.0	△16.3
2	△10.2	△1.2

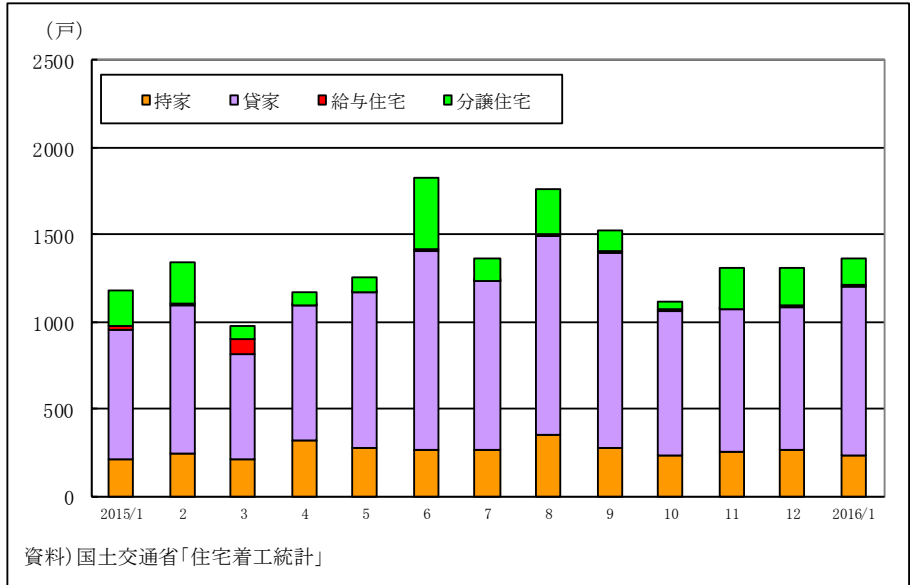


(注1) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は10.2%減少し5ヵ月連続で前年同月を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より3.4%上回ったものの、民間工事向け出荷は19.0%下回りました。**セメント**出荷量も1.2%減と5ヵ月連続で前年同月を下回りました。

【参考】住宅投資(1月)…着工戸数は前年同月を上回る。

	単位:戸、%	
	着工戸数	前年同月比
2015/1	1,181	10.9
2	1,338	3.1
3	980	△36.4
4	1,172	△17.3
5	1,254	12.4
6	1,828	27.7
7	1,362	16.2
8	1,764	19.0
9	1,527	17.4
10	1,118	9.8
11	1,306	7.4
12	1,306	△4.5
2016/1	1,366	15.7



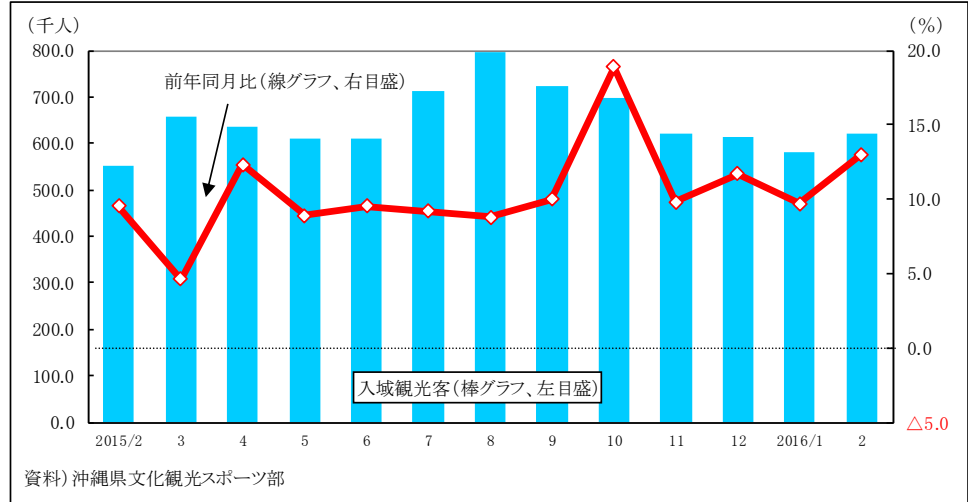
新設住宅着工戸数(1月)は、全体で前年同月比15.7%増の1,366戸と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。利用別戸数をみると、ウエイトの高い「貸家(同30.3%増)」や「持家(同11.7%増)」が前年同月を上回り、「分譲住宅(同22.9%減)」などが下回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数(国内客・外国客の合計)…41ヵ月連続で前年同月を上回る。

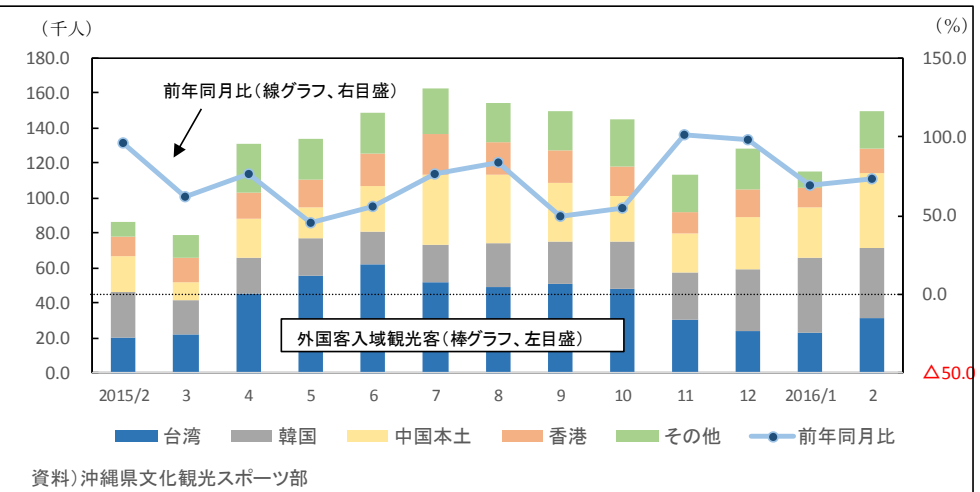
単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/2	550.9	9.5
3	659.0	4.6
4	635.4	12.3
5	611.4	8.9
6	610.0	9.5
7	714.0	9.2
8	797.5	8.8
9	724.7	10.0
10	696.8	18.9
11	619.6	9.8
12	613.6	11.7
2016/1	581.6	9.7
2	622.5	13.0



※外国客は乗務員等を含む

外国客 入域観光客数…31ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2015/2	86.7	95.7
3	79.0	62.2
4	130.6	76.7
5	133.7	45.8
6	149.2	56.2
7	163.0	76.6
8	154.7	83.7
9	149.6	49.7
10	145.1	54.7
11	113.4	101.1
12	128.3	98.3
2016/1	114.9	69.2
2	149.9	72.9



※外国客は乗務員等を含む

2月の入域観光客数は、71,600人多い622,500人(前年同月比13.0%増)となり、41ヵ月連続で前年同月を上回りました(2月としては過去最高)。

内訳をみると、「国内客(同1.8%増)」は472,600人と、スポーツキャンプ見学や桜祭り等のイベント効果などにより旅行需要が好調に推移したほか、航空路線の拡充(成田-那覇LCC新規就航等)効果も加わり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同72.9%増)」は、149,900人と31ヵ月連続で前年同月を上回りました。春節・旧正月における旅行需要の増加や航空路線の拡充(LCC増便等)、クルーズ船の寄港回数増加等により空路・海路ともに好調に推移し、前年同月を上回りました。

「台湾(同59.0%増)」「韓国(同50.2%増)」「中国本土(同107.6%増=約2倍)」「香港(同34.6%増)」

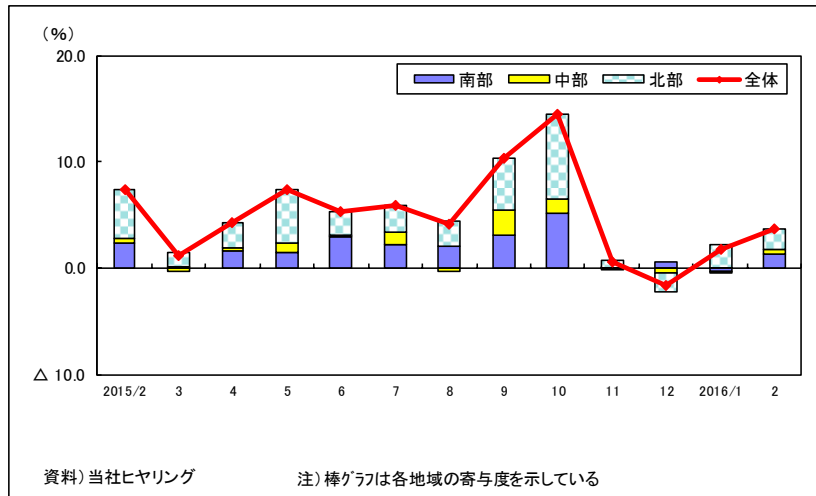
※乗務員等を除く2016年2月実績=全体606,400人(同10.9%増)、外国客133,800人(同62.4%増)、国内客は変わらない。



②観光施設入場者数…2ヵ月連続で前年同月を上回る。

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2015/2	7.4	6.2	3.1	9.5
3	1.1	0.2	△ 2.2	2.9
4	4.3	4.2	2.1	5.1
5	7.3	3.4	7.0	10.9
6	5.3	7.4	1.8	4.3
7	6.0	6.4	10.1	4.8
8	4.1	6.3	△ 2.7	4.3
9	10.3	8.7	21.4	9.0
10	14.4	12.7	9.8	17.2
11	0.6	△ 0.4	0.3	1.7
12	△ 1.6	1.4	△ 3.6	△ 3.8
2016/1	r 1.8	r △ 0.7	△ 1.4	4.6
2	3.7	3.3	3.5	4.0

\*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

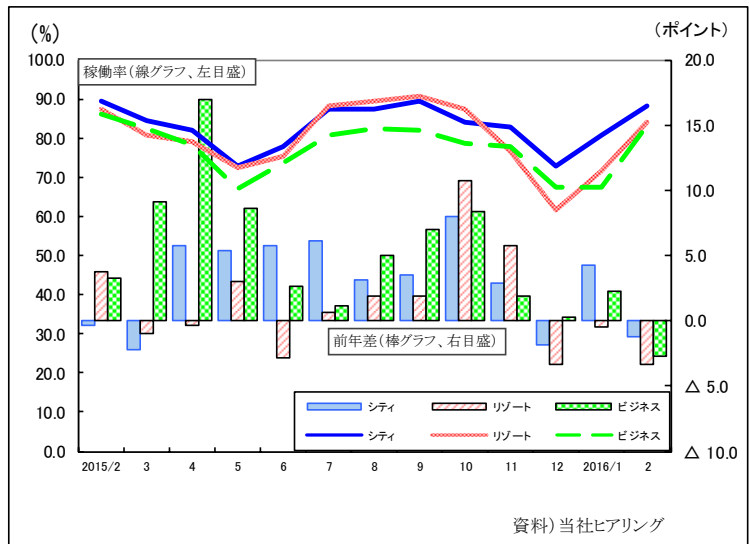


観光施設入場者数は、全体で前年同月より 3.7%増加(2ヵ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 3.3%増と2ヵ月ぶり、中部は同 3.5%増と3ヵ月ぶり、北部は同 4.0%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。

③ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を下回る。

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2015/2	89.5	r 87.2	86.1	△ 0.3	r 3.8	3.2
3	84.6	80.6	82.4	△ 2.2	△ 1.0	9.1
4	82.1	79.1	78.1	5.8	△ 0.4	16.9
5	72.9	72.4	67.1	5.4	3.0	8.6
6	78.0	75.3	73.6	5.8	△ 2.9	2.6
7	87.2	88.3	80.6	6.1	0.6	1.1
8	87.5	89.4	82.2	3.1	1.9	5.0
9	89.3	90.7	82.1	3.5	1.9	7.0
10	83.9	87.3	78.6	8.0	10.7	8.4
11	82.9	76.7	77.6	2.9	5.7	1.9
12	72.8	61.5	67.4	△ 1.8	△ 3.3	0.3
2016/1	80.5	71.5	67.3	4.2	△ 0.5	2.2
2	88.3	83.9	83.4	△ 1.2	△ 3.3	△ 2.7

注)シティ9ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル  
注)2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

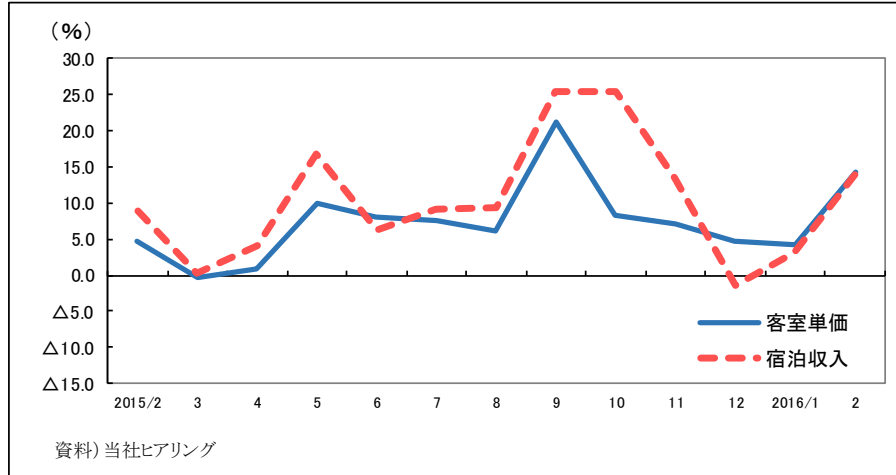


県内ホテル稼働率は、シティホテルが 88.3%と 1.2 ポイント減少(2ヵ月ぶり)、リゾートホテルが 83.9%と 3.3 ポイント減少(3ヵ月連続)、ビジネスホテルが 83.4%と 2.7 ポイント減少(28ヵ月ぶり)しました。



④ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位:%		
	客室単価	宿泊収入
2015/2	r 4.6	r 8.8
3	△0.3	0.3
4	0.8	4.0
5	9.9	16.8
6	8.0	6.3
7	7.6	9.2
8	6.1	9.4
9	21.1	25.5
10	8.2	25.3
11	7.1	13.5
12	4.6	△1.4
2016/1	4.2	r 3.1
2	14.2	14.0



※対象施設数:28施設(シティ9、リゾート19)、ビジネスは除く

※客室単価は28施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※2015年10月より、シティホテル対象施設数が変更(10⇒9)となったことから、2014年10月以降の数値を遡って改定した。

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする

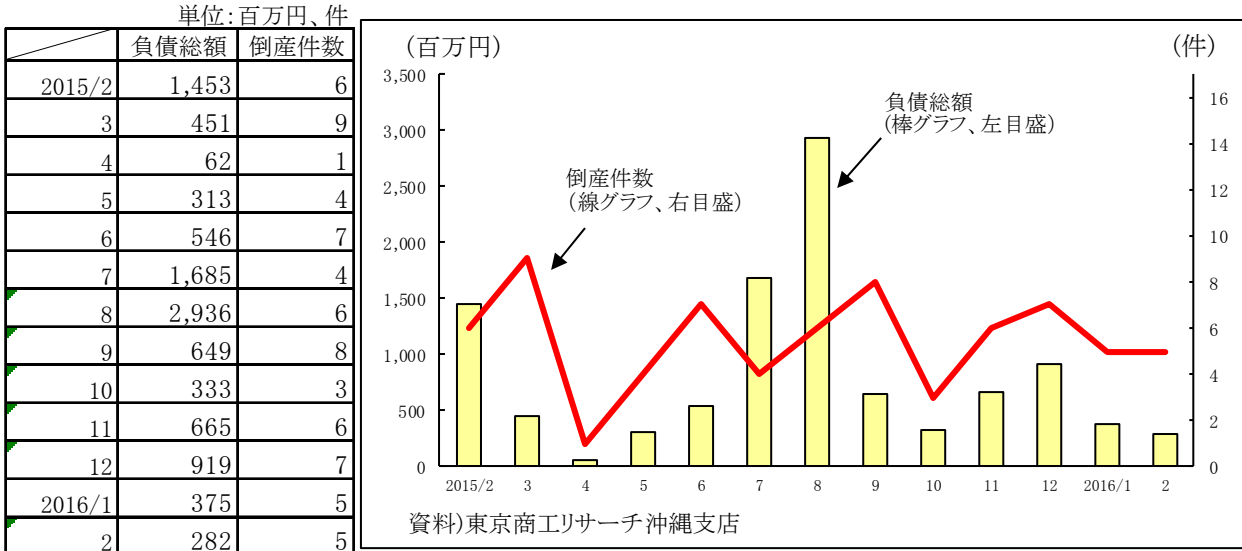
※2014年4月指標より新たに掲載

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は前年同月比 14.2%増と前年同月を上回りました。**宿泊収入**も同14.0%増と前年同月を上回りました。



■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数、負債総額はともに前年同月を下回る。

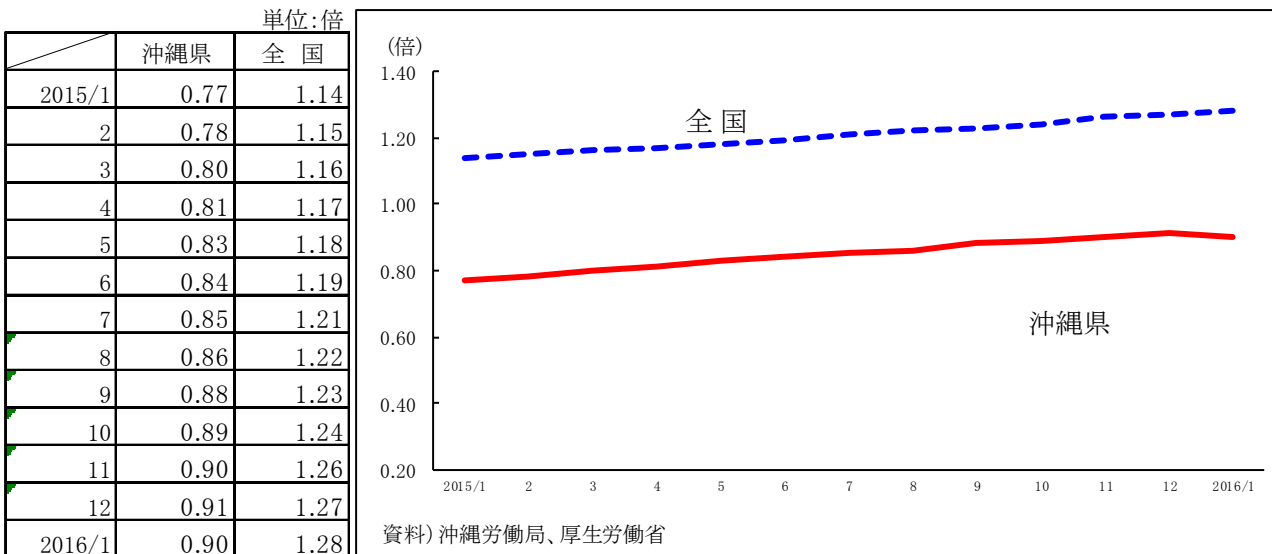


2月の企業倒産件数は、5件(うち、1億円以上の大口倒産は1件)発生し前年同月より1件少なく、負債総額は2億8,200万円の前年同月より80.6%減少しました。



【参考】雇用関連: (良い)

(参考)有効求人倍率(1月)…沖縄は前月より下落、全国は上昇。



注) 季節調整済

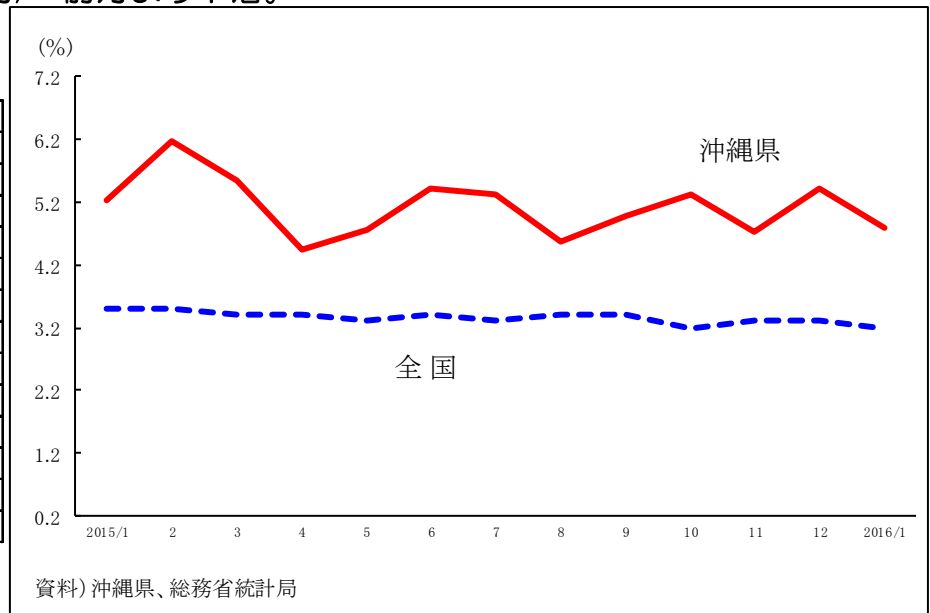
注) 季節調整法は、センサス局法Ⅱ(X-12-ARIMA)による

1月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)は前月比3.5%減の24,383人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.2%減の27,231人となり、有効求人倍率(季節調整値)は0.90倍となり前月より0.01ポイント低下しました。

(参考) 完全失業率(1月)…前月より下落。

	単位:倍	
	沖縄県	全国
2015/1	5.2	3.5
2	6.2	3.5
3	5.5	3.4
4	4.4	3.4
5	4.8	3.3
6	5.4	3.4
7	5.3	3.3
8	4.6	3.4
9	5.0	3.4
10	5.3	3.2
11	4.7	3.3
12	5.4	3.3
2016/1	4.8	3.2

注) 季節調整済



1月の完全失業率(季節調整値)は、4.8%となり前月より0.6ポイント下落しました。